

令和7年 第8回 朝倉市教育委員会（定例会）会議録要旨

日 時 令和7年7月23日（水） 16時00分～16時58分

会 場 ピーポート甘木 1階 社団室

出席委員 早野 展生（教育長） 上原 実二（委員）
高倉 満（委員） 坂口 秀孝（委員）
泉 真知子（委員）

事務局 草場 勉（教育部長） 平井 謙一郎（教育課長）
篠原 浩之（文化・生涯学習課長） 牧草 勲（教育課主幹参事）
永井 弘毅（教育課参事） 梶原 瑞穂（教育課総務係長）

議 事 な し

協議事項 ・令和7年度（令和6年度対象）教育委員会の自己点検・評価報告書について

報告事項 な し

そ の 他 （教育課）
・令和7年度第1回朝倉市総合教育会議について

（文化・生涯学習課）
・ぴあら8月号について

教育長	ただいまから、令和7年第8回朝倉市教育委員会を開催いたします。 よろしくお願いいたします。 それでは、1の協議事項に入ります。 令和7年度（令和6年度対象）教育委員会の自己点検・評価報告書についての説明を事務局よりお願いします。
事務局	《協議事項（総論） 説明》
教育長	総論部分の説明が終わりました。ただいまの説明につきましてご質問、ご意見がございましたらお願いします。よろしいですか。 それでは次へ参ります。自己点検・評価表の学校教育部門について、事務局から説明をお願いします。
事務局	《協議事項（学校教育） 説明》
教育長	学校教育部門の説明が終わりました。何かご質問・ご意見等ございましたらお願いいたします。
A委員	27ページの今後の改善策の中で、中学校における部活動改革を推進します、という項目がありますけれど、具体的に例えば地域クラブに移行されたものがあるとか、それとも部活動の時間が減ってきているのか、先生達の働き方改革の影響で部活とかの時間が減っているのか、そのあたりはどうなんでしょうか。
事務局	部活動改革の方法のついてでございますが、地域クラブとまでは進んでおりませんが、学校の部活動と下校時間以降の部活動を分けて、下校時間から以降の部活については学校の教員ではなく、地域の指導者や保護者に指導していただくという、そういう区切りを昨年からつけております。そういった事がひとつ教員の負担減といえますか、時間数減につながっているのではないかなというふうに考えております。
A委員	実際例えば、部活終了の18時、これ以降の部活については地域の人とかそういう指導者の方々にやってもらっている、そういう例が実際にはあるんですか。
事務局	あります。
A委員	あるんですね。
教育長	基本はそうですね。全中学校ですね。具体的に時間とか言わなくていいですか。
事務局	学校の下校時間というのは基本的には日没以前に設定して、明るいうちに子どもが帰れるようにとする事しております。その時間から、区切りをつけるために30分時間をおきまして、それ以降であれば施設を貸し出しまして、また子ども達が集まって活動を行っていくという取組になっております。指導者は、地域の方それから保護者、それから中には保護者から依頼を受けて教員が、自分が内諾した教員も指導者の中には含まれております。
教育長	よろしゅうございますか。

A 委員	はい。
教育長	それでは別件でございましたら。
B 委員	23 ページの A I ドリル等の活用の学習の個性化で最近よく耳にするんですが、僕自身が A I ドリルのイメージがわからないんですが、将来的に児童・生徒が A I ドリル等を活用した学習の個性化で、子どもが学習しているイメージの部分というのが僕たちはどんなイメージを持っておけば良いのかな、というのがわからなくてですね。個別個別が自分で学習しているのか、個別最適化みたいなイメージ、僕の個人的なイメージとしては独自でしているイメージか、友達と学習している子もいれば、先生の説明を受けているという形で、一つの教室の中で、それぞれの生徒に合った学習形態が自由に行われているイメージ、将来的にはそんなイメージになると良いなというのが僕の中であるんですけど、その A I ドリル等の活用した学習の個性化を僕としては聞きたいな。
事務局	理想形は今、B 委員が言われた所ではないかなと、思っております。 ただ、A I ドリルの導入はつい先月くらいから始まったという事になりますので、まずはその使い方に慣れるという所もあって、学校の方では取組は様々だと思うんですが、たとえば朝自習の時間等にみんなで一斉に使用するというのがひとつたっているのではないかなと思います。 今後は長期休業中等に持って行かれてですね、課題と宿題を行うという取組もあると思います。最後、それが慣れてくれば先ほど言われたように、单元の中で前半は一斉に授業するけど、差がついたりする習熟度別で授業を行った方が、効果のある所では友達と勉強したり、自分で A I ドリルをしたりという所で自分で選んでという学習が進んでいけば、より効果的なものになるんじゃないかなと考えています。
B 委員	夏休みの課題とかも、教科の先生方も一生懸命学習プリントをたくさん準備されてあるんですよね。こういうのが夏休みの課題等でタブレットで学習課題を配布して、それを夏休みの課題として子ども達が学習に活用するみたいな事があれば、当然先生方も仕事の軽減につながるので、そういう活用方法も、もしこれを活用できるのであれば、そういう活用方法も考えていただければ、先生方も仕事がだいぶ楽になるんじゃないかという気がしたんで、付け加えてお願いしておきます。
教育長	A I ドリルを実際見ていただける場がありますかね。教育委員さん方に、学校訪問とかで。小学校だけですか。
事務局	小・中両方あります。
教育長	では学校訪問で。
B 委員	よろしくお願いします。
教育長	それでは、次に入ります。生涯学習・スポーツ・文化部門の説明です。
事務局	《協議事項（生涯学習・スポーツ・文化） 説明》

教育長	生涯学習・スポーツ・文化の部門の説明が終わりました。 ご質問・ご意見等がありましたらお願いします。
A 委員	29ページの先ほど説明がありました、お茶の間学習ネットワーク事業の中の、今後の改善策の所で、1講師につき複数の教室を開催するという文言がありますが、これどういう意味なんですか。つまり一人の講師の方々が、いくつもの分野の事をするのか、それとも例えば、甘木、杷木、朝倉で行う会場をあげて行うものなのか、そのあたりはいかがでしょうか。
事務局	先ほどのご質問につきましては、1講師が複数のコミュニティで、同じ講座を行うといった内容で進めております。
A 委員	わりとこのような講座というものはピーポートではあっておりますが、どうしても朝倉、杷木になるとその辺りが弱いように思いますので、その辺りをこれから取り組んでくださるのだなと今の答えを聞いて思いました。ぜひよろしくお願いします。
教育長	朝倉、杷木においても講座が多くなるように。他にございましたら。
B 委員	e-Sports については、前回、フレアスにおいて盛大な状況でよかったと承知しているのですが、その後に取り組まれている内容や現状がわかりましたら教えていただきたいと思います。
事務局	e-Sports の方ですけども、今年度につきましては、2年目の継続した事業の中で、各コミュニティにお願いしている状況なんですけど、e-Sports の予選会を各コミュニティの方で行いまして、最終的にはフレアス甘木の方で決勝大会を行うという事で今、話を進めているところでございます。
B 委員	そうすると自分たちの住んでいる所、私で言えば久喜宮コミュニティなので、久喜宮コミュニティから色んな活動の中身がおりてこない地域にはなかなか浸透しないという部分もあるんですね。
教育長	今、考えている種目は何でしょうか
事務局	まだ決定ではないのですが、2つ。
C 委員	太鼓の達人とレースのやつですかね
事務局	そうですね、太鼓の達人かレーシングかぶよぶよ。ボーリングなども入れたいのですが、どのソフトを使うかを検討しています。
B 委員	なるほど。コミュニティからの情報を待つという形になりますね。地域の方はですね。
教育長	他にございますか。よろしいですか。 それでは全体を通して、何かございましたらお願いします。 それでは、本日出されましたご意見等につきましては、事務局で再度検討いたしまして、整理するようにお願いします。
事務局	《協議事項 追加説明》
教育長	それでは、協議事項は終わりました、2のその他に入ります。
事務局	《その他 説明》

教育長

それでは、これもちまして令和7年第8回朝倉市教育委員会を終了いたします。
お疲れさまでした。